淀川区教育行政連絡会「小学校の部」議事要旨

日 時 令和2年7月13日（月）9:30～10:35

場 所 淀川区役所 6階 601・602会議室

出席者 学校長：新東三国 北中島 宮原 西三国 三国 新高 西中島 木川 木川南
十三 野中 神津 塚本 田川 三津屋 加島（欠席：東三国）

区役所：淀川区担当教育次長（区長） 淀川区教育担当部長（副区長）

淀川区教育担当課長 同課長代理 同係長3名 同係員

傍 聴：0人

資料1-1 R1運営に関する計画 区から依頼した取組の評価結果【ヨドネル】

資料1-2 R1運営に関する計画 区から依頼した取組の評価結果【淀川漢字名人育成計画】

資料2-1 R2運営に関する計画 区から依頼した取組の反映状況【ヨドネル】

資料2-2 R2運営に関する計画 区から依頼した取組の反映状況及び実施計画【淀川漢字名人育成計画】

資料3 ブロック化による学校支援事業について

資料4-1 事前にいただいているご意見・ご要望

資料4-2 令和2年度 淀川区役所教育支援担当関係事業一覧

資料5 事前にいただいているご意見・ご要望

資料6 淀川区大志育成プロジェクト事業について（周知）

【次第】

司会：淀川区教育担当課長

◎淀川区担当教育次長（区長）あいさつ

◎議題

- 1 令和元年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の振り返り）【公開】
 - 2 令和2年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の反映状況）【公開】
 - 3 4ブロック化による予算について【公開】
 - 4 次年度事業に向けたブレインストーミング【公開】
 - 5 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について【公開】
 - 6 分権型教育行政にかかる情報提供【公開】
 - 7 その他【公開】
- ・各議題について意見交換

区長あいさつ

- ・コロナ禍において防災に対する考え方が変わってきている。淀川区としては、教育活動への影響が最小限となるよう、学校施設における地域活動・盆踊り・敬老会の自粛を要請している。また、防災訓練についてもたくさんの人を集めての従来型の訓練は難しいが、自主防災組織へのコロナ禍を想定した避難所開設訓練や学習会は必要だと考えている。
- ・区役所を統括している朝川副市長からも、コロナ禍においては災害時避難所の収容力を最大限アップする取組を進めるよう指示があった。災害時避難所の避難スペースは、今まで1人当たり1.6㎡という基準だったが、ソーシャルディスタンスを考慮し1人当たり4㎡という基準が示された。計算上、淀川区では収容可能人数が2万人以上不足することになるため、新たに民間施設等を開拓することも必要だが、まずは災害時避難所に指定されている学校の収容力をアップすることを最大限にせよとの指示が出された。これまでは授業を再開する時に支障にならないようにと、普通教室は避難スペースとして活用していなかった地域や学校も多いと思うが、今後は普通教室も含め見直しを考えていかなければならない。
- ・一方、避難所の運営期間をできるだけ短縮しようという動きがある。自宅に帰れないから避難所開設が長期化する訳だが、災害住宅を建設するとどうしても期間がかかるので、今後は市営住宅や民間住宅の空き家を活用する方向で検討している。このように授業再開への影響も少なくなるように検討していくので、ご協力をお願いしたい。
- ・各連合振興町会にある小学校、新北野地域については中学校に、防災担当が避難所スペースのたたき台を持って、校長先生や地域役員のもとへ伺い、調整を図ってまいりたい。その他の中学校についても、台風が本格化する9月までに、調整に入るので、ご協力をお願いしたい。
- ・災害時避難所に備蓄が必要な非接触型体温計について、区長会の安全・環境・防災部会から配備を要望していたが認められず、学校に配備済の非接触型体温計を共用せよとの市の方針が出たので、地域の方にもわかりやすい保管場所についての協議にもご配慮をお願いしたい。

議題1 令和元年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の振り返り）

議題2 令和2年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の反映状況）

（区より説明）

- ・各校の運営に関する計画への反映を依頼している「ヨドネル」と「淀川漢字名人育成計画」について、昨年度の取組の評価結果と今年度の取組の反映状況及び漢字検定の受検日を一覧にまとめているので、ご報告させていただく。

議題3 4ブロック化による予算について

議題4 次年度事業に向けたブレインストーミング

（区より説明）

- ・今年度から4ブロック化による学校支援事業が始まっているが、淀川区は5つの区が所属する第1教育ブロックに所属しており、第1教育ブロックは92校、1,610学級、総額1億7,703万円の予算となっている。予算の内訳としては①基本配付8,050万円、②基本配付が減額されたことによる影響緩和分5,126万円、③事業充当分4,527万円、そのうち3分の1がブロック単位事業分、3分の2が学校単

位事業分となっている。

- ・学校が申請した内容について、教育委員会の査定により、変更を要請されたことで校長先生の思いや学校の取り組むべきことが出来ないようでは意味がないので、校長先生方が納得されているかどうかを区が確認するプロセスを入れるよう淀川区が教育委員会に申し入れたこともあり、先日、区から各校へお尋ねした結果、みなさまがご納得されていると理解している。今後も教育現場を一番理解されている校長先生方のご意見をお聞きし、反映できる点は可能な限り反映していきたい。
- ・令和3年度も同様の形態で学校支援事業が進められると思うが、今年度を踏まえ今後どのような改善をすればよいか、またはこのままでよいのか、ご意見をお聞かせいただきたい。
- ・4ブロック化による事業へのご意見とあわせ、これまで淀川区で実施してきた事業も含め、令和3年度に向けて、こういうことがしたいといったみなさまのご意見をお聞かせいただきたい。

(意見交換)

○「納得しているか」との区からの問合せに、区長が各学校長の意見を尊重してくれていることが伝わって、非常に嬉しかった。ただ、区から問い合わせをいただいたタイミングと教育委員会からの最終結果があったタイミングにズレが生じていた。

⇒区より

学校がブロック単位事業、学校単位事業を申請し、教育委員会が調整しているタイミングを区がリアルタイムで把握できていなかったことが原因だと思う。来年度に向けて、もう少し細かなスケジュールを教育委員会と区で照らし合わせ、タイミングをうまく合わせられるよう努めたい。

○学力向上に絞った支援が多い。学力を保障するために取り組みたいことが多くあるが、予算の趣旨である学力向上に縛られすぎていて、自由度があまりない。

○使途が学力向上のみに絞られるのは理解するが、ある程度自由度のある予算の使い方ができるように工夫していただければ、現場として非常にありがたい。

○教育委員会の4ブロック化の取組について、組織や関係機関の行政図みたいなものができているが、機能するのかなと思う。今回のように、区が校長の意見を聞いていきながら取組されていることはありがたい。

○マンパワーがほしかったので、学びサポーターが入ってくれることに教員は喜んでいる。

○来年度からブロックとしての独自性を言うなら、こういう場できっちり話をして方針を立ててもらえるとありがたい。

○3種類の予算の違いがわからなくて、混乱した。ブロック化により、内容はほぼ同じなのに基本配付、ブロック単位、学校単位の3種類の書類を作成しなければならなくなり、非常に困った。働き方改革と矛盾する現行のやり方を是正し、提出するのは1種類にしていきたいというのが切なる願いだ。

⇒区より

ブロック化した限りは、そのスケールメリットを生かせるようなものをブロック単位事業として進めるべきだという考え方が一方である。しかし、最適なものがなかなかないとか、やはり学校ごとの実情に合った予算を拡充したい、例えば、淀川区では発達障がいサポーターを充実させたいといったマンパワーを求める声もよく聞く。実際そこに力を入れて授業ができる環境を整えるのが学力向上の基本だと思うが、どうも学力向上の趣旨には合っていないとみなされるようだ。今年度の実態を踏

まえ、みなさまの声を今後に生かしていきたい。

- マンパワーがほしくて予算要求したが、担い手がないために予算を使えない可能性がある。
- 何をやっても学力向上につながることを学校は考えている。全国学力・学習状況調査の点数を上げることのみが学力向上ではなく、子どもの生活が安定すること、虐待のリスクのある子に対応していくこともすべて学力向上につながっていることを、わかってほしい。
- 教頭の仕事が増えている。今は非常に中途半端で、書類は増える、会議はできない、授業をしないといけな、電話をして頻繁に連絡を取らないといけななど、事務的なことに追われているのが現実。ブロック化で教育委員会や区と連携しようとするなら、ブロック専門の事務処理をする人材が2～3人は必要。今の制度のままではブロック化の良さを生かしきれないのではないかな。

⇒区より

ブロック単位でやらないといけな事業もあり、学校単位でやらないといけな事業もあり、それも含めて一つの事務作業になれば、分けてやる必要性がなくなると感じた。

- 学力向上の解釈の仕方がかなりずれている。教材・教具を持ってきたら必ずテストの点数が上がるように解釈されているのではないかな。解釈の幅をもう少し広げていただきたい。
- 新型コロナウイルスの影響で今年度、当てにしていた教育実習生にほとんど来てもらえない。予算があっても使えないなら、無駄になる。区役所には学校関係の人材バンク的なものを作っていたらと思う。校区以外からも来てくれる学生や人材を探し、情報提供いただければありがたい。

⇒区より

以前、区でも人材バンク的なことをやっていたが、信頼できる人でないと入れたくないといった学校もあったので、結果的には区としての人材バンクをあきらめた経過がある。しかし、今、校長先生方の総意として区でやってほしいというご意見が多々あるなら、検討していきたい。

- 人材のコーディネートは大変難しい。人が足りない実情はあるので、区役所と人材に関する情報を共有できれば一番よい。
- 講師や学力サポーターだけではなく、心理・医療など教育だけではない専門性を持つ方にアドバイスしていただけると非常にありがたいので、区役所には専門性のある方のコーディネートをお願いしたい。

⇒区より

区役所には子育て支援室もあり心理療法士の情報もあるので、有機的に情報を共有して、少しでも学校の助けになるよう努めたい。

- 当初から学びサポーターの予算があるとわかっていたら、人材も確保し、きちんと計画してそれぞれの方をお願いすることができたが、最終的には当初の計画から変更せざるを得ず、複雑になったため、ブロック化による学校支援事業で使うことを断念した。新型コロナウイルスの第2波に備えサポーター以外で予算化し、一応は納得いくものとなった。

議題5 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について

(区より説明)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について、ご意見があれば今後もメール等でお聞かせいただきたい。

議題6 分権型教育行政にかかる情報提供

【淀川区大志育成プロジェクト事業について（周知）】

（区より説明）

- ・昨年度から実施している淀川区大志育成プロジェクト学習会経費について、児童・生徒の自尊心向上のためにトップアスリート等を招いて学習会を実施したいというお声があったことを受け、今年度から予算を増額し、講師謝礼の金額の単価を引き上げている。令和3年3月24日までに実施予定の学習会に適用できるので、一部負担の申請を希望される学校は、令和2年10月30日を申請書の提出期限としているので、ご検討をお願いしたい。

議題7 その他

- ・特になし